

● 沿革・自然

町名の由来

明治23年(1890)、網走釧路間に仮県道が開削され、翌24年に駅通が開設されました。当時、県道沿いのポンヤンベツ川付近(現在の元町1丁目)に湧き水があり、きれいに澄んだ冷たくおいしい飲み水として旅人らに親しまれていたため、この小さな清水の名を取って駅通の名を「小清水」と決めました。また、ポンヤンベツ川の名そのものも、アイヌ語でポン(小さい)、ヤムベツ(清水の川)という意味を持ち、小清水市街地がこの川のほとりにできたこともあり、両方の由来から大正8年(1919)の第一回村会において村名を「小清水村」と決定しました。

沿革

開拓前、止別原野はカシワやナラ、カヤやハギが密生するうっそうとした原生林で、止別川口、^{やむべつ}湧沸湖畔、^{とつふるとう}湧釣沼およびニクル沼付近にアイヌの人たちがそれぞれ小さな集落をつくっていました。

明治5年、北見国根室支庁斜里郡として戸長がおかれ、現小清水はこの郡にありましたが、当時斜里郡は^{もろまゐ}蒼瑠、^{しゆえん}止別、^{おんねべ}斜里、^{しゆえん}朱円、^{とよねべ}遠音別の5つの村から成っていました。

小清水町の歴史は明治12年7月「郡区町村編成法」が制定され、斜里郡斜里村外4ヶ村の行政区が確定したのが始まりです。その後、大正8年4月に旧斜里村より分村し小清水村が誕生、昭和28年10月には町制施行、同43年には開町50周年を記念して町民憲章を制定、平成30年はふるさと小清水140年・開町100年の記念の年を迎えました。

小清水町は畑作と酪農を中心として発展を続けている純農村で、就業人口の41.2%が農業を中心とする第1次産業で占められています。




北網地域の南端に位置する小清水町は、国道244号(網走～小清水～斜里)、同391号(小清水～弟子屈～釧路)、同334号(美幌～小清水～斜里)を中心とする道路網で北網地域と釧路地域を結ぶ交通上の要所となっていることに加え、北に面するオホーツク海沿岸部は原生花園が広がり、南は屈斜路湖を擁する藻琴山などの山岳地帯を形成し、様々な自然環境の顔をもつまちです。

少子高齢化や高度情報化、国際化、地球規模の環境問題、社会経済構造の急激な変革や分権型社会への移行など、小清水町を取り巻く状況は大きく変化しています。様々な状況の変化に的確に対応しながら、これまで以上に地域の特性を活かした個性あふれ、魅力あるまちづくりを推進するため、平成32年度を目標とする第5次小清水町総合計画を策定。平成27年度には後期基本計画を兼ねた小清水町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しています。「マイライフタウン小清水～大自然の中で、小清水版ライフスタイルを創造するまち～」を実現すべく、「生活を創造するまち」「元気で活力のあるまち」「人が育ち・創るまち」をまちづくりのテーマとし、「新しい人の流れ・定住促進」「結婚・出産・子育て」「雇用の創出」「地域間連携」の施策を、町民・企業・行政が手を携えて進めていきます。

町章の由来



本町の町章は、町制施行を記念して昭和28年10月7日に制定されました。

 は「小」、 は「清」、そして  は「水」を表し、この3文字を合わせて小清水の意味を表し、町民一丸となった理想郷「小清水」を象徴しています。

町の花

エゾスカシユリ
(昭和43年9月20日制定)

オホーツクの海が明るさを増し、初夏の陽光がさんさんとふりそそぐ原生花園砂丘に群がり咲くありさまは、目をみはるばかりの美しさで、小清水町を象徴する名勝の名花として、広く町民に愛されていることから選定されました。

町の木

ミズナラ
(平成3年9月27日制定)

大地にどっしりと根をおろし、強い生命力は21世紀を力強く羽ばたこうとする小清水町のシンボルとするにふさわしいとの理由により選定されました。

町の鳥

オオハクチョウ
(平成10年9月28日制定)

湧沸湖に飛来する代表的な水鳥として内外に広く知られており、素晴らしい自然環境に恵まれた我が町のイメージにふさわしい鳥であることから、ふるさと小清水120年・開町80年を記念し、「町の鳥」として選定されました。

町技

ソフトボール
(昭和48年3月19日制定)

老若男女こぞってスポーツに親しむまちづくりの方向を打ち出そうと、大衆スポーツとして「ソフトボール」が選定されました。

沿革・自然

位置・広ぼう

北海道の東北部、オホーツク海に面したオホーツク総合振興局管内東部を占める斜里郡にあり、郡内の西部に位置しています。



周囲は、北が全面オホーツク海に面し、東は斜里町、清里町と、西は網走市、大空町と、南は釧路総合振興局管内弟子屈町とそれぞれ接しており、総面積は286.89km²です。

地目別土地面積 (固定資産概要調書)

地目	面積	
	平成23年度	平成29年度
宅地	3,692,909 m ²	3,804,553 m ²
畑	10,652 ha	10,636 ha
山林	14,506 ha	14,490 ha
牧場	675 ha	664 ha
原野	332 ha	332 ha
雑種地	380 ha	418 ha
その他	1,790 ha	1,769 ha
計	28,704 ha	28,689 ha

気象の概要

小清水町は、北辺が全面オホーツク海に面し、内陸部は北見山地と千島火山帯に遠巻きに包まれているため、オホーツク海の海流、海霧、流水などの影響を受ける「オホーツク海区型気候」と、ケッペンの気候区分による「亜寒帯多雨気候区」の2つの様相が連続混こうしています。

春の訪れは例年4月中旬ごろで、夏は暑く短く、内陸性気候を示します。

冬は降雪量は少ないものの、季節風のため地吹雪は凄まじく、また流水接岸の南限になり、凍雪があたり一面を覆う長い冬がやってきます。

年別気象概況

網走地方気象台

区分	気温					降水量			風速				年間日照時間
	最高		最低		平均	総量	1日最多量		平均	最大			
	最高極	起日	最低極	起日			量	起日		風速	風向	起日	
25年	32.4℃	7月9日	-22.7℃	1月17日	6.5℃	853mm	98mm	9月16日	3.8%	19.5%	北西	3月2日	1808.5h
26年	34.9	6月3日	-21.4	2月7日	6.5	766	59	5月16日	3.7	17.0	西	12月17日	2002.2
27年	35.0	8月5日	-20.3	1月19日	7.2	852	151	10月8日	3.7	18.1	南南東	4月3日	1827.2
28年	29.8	8月4日 8月7日	-22.6	2月25日	6.4	1019	80	8月9日	3.8	21.0	南南東	8月17日	1942.9
29年	35.8	7月15日	-19.9	1月13日	6.4	714	53	10月23日	3.5	17.4	南南東	12月25日	1817.6

太線は、観測場所の移転、測器の変更などの理由により、観測データがこの前後で均質でない可能性があります。

平成29年 気象概況

網走地方気象台

区分	気温			降水量		風速		月間日照時間
	平均	最高値	最低値	月量	最大日量	平均	最大	
	℃	℃	℃	mm	mm	%	%	h
1月	-6.7	6.8	-19.9	10.5	2.5	3.3	13.8	99.7
2月	-5.2	7.2	-17.9	22.0	8.5	3.5	10.8	114.9
3月	-2.4	6.0	-14.8	12.0	5.0	3.1	10.8	165.6
4月	5.1	21.9	-6.7	19.5	7.5	4.5	15.6	185.0
5月	11.4	29.8	1.1	57.0	15.0	3.6	14.1	190.1
6月	13.1	30.1	0.6	147.5	26.5	3.5	14.5	153.6
7月	20.3	35.8	11.2	67.5	20.0	2.9	10.6	194.2
8月	18.4	29.5	12.1	35.0	9.5	2.8	8.2	104.9
9月	15.5	28.4	2.5	99.0	21.5	3.6	16.7	175.9
10月	8.6	23.3	-1.4	136.5	52.5	3.6	13.8	162.8
11月	2.6	15.6	-14.1	67.0	25.5	4.0	15.1	144.7
12月	-4.3	7.3	-16.9	40.5	22.5	3.5	17.4	126.2
全年	6.4	35.8	-19.9	714.0	52.5	3.5	17.4	1817.6